

① 先生が子どもに教えたいと思ったことがお子様に伝わったと思いますか？

- 後ろから見ている限り、よく話を聞いていたようですが、帰ったらまた親子で話し合ってみようと思います。
- 自分も地球に住む人間の一人なのだ、という意識が解ったのではないかと思います。どうせ住むなら、平和で住みやすい地球であったほしいと感じてくれたらよいと思いました。
- 平和な世界の子供達の実現できたらいいなと思いました。子供達にも心のどこかに受け止めてほしいと思いました。
- 難しかったのでは、と思います。伝わればよいのですが。
- 子供達には難しい内容だが、わかりやすく話をされていた。理解できていると思う。
- あまり伝わらなかったのでは…。私自身も正直よくわからなかった。
- 憲法については、キーワードが難しく、理解できたかどうかわかりませんが、なんとなく伝わったと思います。「平和」ということ自体、抽象的なので難しいと思いますが、小学校高学年になると「戦争はよくない、悲しいこと」というイメージがあるようですが、より具体的に伝わったと思います。
- 「もったいない」のマータイさんがノーベル平和賞を受賞したこと。
- 「共通」というのがキーワードの一つかと思いますが、昨年来、平和について子供達も考えざる得ない状況ですので、今日の授業は理解できたのではないかと思います。
- 日本だけでなく世界平和こそ本当の幸せであるということや、日本国憲法を遵守することの重要性が伝わったと思います。

② 先生の話す速さや言葉は、ちょうどお子様達に理解出来たと思われませんか？

- わかりやすくお話して下さったと思います。難しい言葉も噛み砕いて説明されていたので理解できたのではないかと思います。
- 活字文章の資料は、時間をかけて読まないとし少し難しいでしょう。自力でノートを取っているようでしたので、それなりには理解しようとはがんばっていたのだと思います。
- 少し速かったように思います。
- 穏やかで理性的に話されていた。後半はちょっと歯切れが悪かった印象で結論がわかったかどうか…。
- 少し言葉が難しく理解できたか疑問…。ただひたすら聞いているだけだったので（当たり前ですが）集中力が続かなかったのでは。（語り口の抑揚がなく、長時間はちょっと…）
- 少し速かったように思います。話されていた言葉やスライドの内容も難しかったのでは…と感じました。もう少し分かりやすく、写真や資料(グラフやデータ等)があれば、より理解が深まった気がしました。
- 話す言葉や速さは適していて、穏やかで聞きやすかった。

- 難しい言葉でなくわかりやすい言葉を選んでお話されている印象でした。
- 憲法や新聞など難解な言葉が多かったと思いますが、世界平和を求める動きについて大まかに捉えれば、それで十分だと思います。

③ ご自身で印象に残ったことや新たに発見したことがありますか？

- ノーベル平和賞だけノルウェーで選ぶ・・・という話は、以前子どもで大学で聞いたな・・・とっていました。池上彰さんの回でしたでしょうか？すっかり忘れていましたが今日また聞いたのでよかったです。
- 世界のニュースに少しでも関心を持ってほしいと思っていたので、よいタイミングの講義だったと思います。
- イラク戦争で戦争前に大勢の人々が反対運動を起こしていたことをはじめて知りました。世界中の人々も平和を望み行動しているのにもかかわらず、何故戦争（争い事）がなくなるのか？日本は平和で戦争もないので戦争という事の実感がわからないが、世界に目を向け、もっと争い事のない地球になるように行動していかなければいけないのかも知れないと思いました。
- 地球村の一員であると考えること。
- 直接的暴力だけでなく、貧困や差別など構造的暴力をなくさなければ、平和は達成されないこと。
- 戦争がない＝平和だと思っていましたが、やはり一年前の震災や原発事故を経験して、「平和」はそんなに単純ではないと気がつきました。人事でなく、自分のこととして物事を捉えて考えることが「平和」につながっていくんだなあと思いました。
- コスタリカも平和憲法があったこと。
- 言葉は大切と言う事（コミュニケーション）を再認識しました。発言する子供達の意見などから平和について子供達が考えていることがわかった。
- 戦争・紛争だけでなく、独裁、貧困、原子力等、平和を脅かす問題はいくつもあり、それを一国の問題にとらえず、世界中の課題としてとらえていく動き。

④ いままで子ども大学の授業を受けて子どもの考え方や興味のもち方が変わったと思いますか？もし変わったとしたら、どういう点で変わりましたか？また、今まで受けた授業でどの授業が一番よかったと言っていますか？

- 昨夏「被爆ピアノ海を渡る」という本の読書感想文を書いて以来、「平和コンサート」を聴くのが夢になっている娘ですが、今日のテーマも興味を持てたのではないかと思います。先生が紹介なさっていた「世界がもし100人の村だったら」の本も、その元となった1000人バージョンの本も家にあるので、帰ったらまた開いてみようと思いました。子ども大学の授業で聞いたことをよく自分で調べるようになって親としては嬉しいですが、質問されてしまうので緊張しています。先日も韓国アイドルが好きな彼女から「韓

国には兵役があるけれど、日本では何でないの？」と聞かれ、思わず「知らない」と答えてしまい反省しています。

- これだけ大勢の学生がいる中で発言できるようになった事が、大きな成長だと思いました。
- 変わっていないように思います。お薬の授業が良かったと言っていました。
- 子供が変わったようには思いませんが、私が(親が)一緒に授業を受けることによって、子供へのかかわり方をもっと積極的に“学び”へと結びつけるようになりました。Bestは望月先生の授業
- 自分のことだけでなく、周囲に目を向けるようになりました。日本だけでなく、世界や地球全体のことを気かけたり関心を持つようになったと思います。又、“自ら学ぶ”ということを意識的にしているように見えます。毎回、授業のテーマについて、帰路の車中や帰宅後に家族で話をするようになり、お互いの意見を言い合って勉強したことを深めています。自分の考えと違う意見に耳を傾けたり、受け入れたり、影響を受けたりしています。このような機会を与えていただいて感謝しております。一回一回の授業を大切にしていきたいです。

以上